

月伯  
丁門



二十九の話  
二浦一室

# 我軍愈よ威猛を揮發

雨を衝き進撃又進撃  
三方より蘇州に迫る

中央軍前敵總司令陳誠遁走し

敵全軍早や浮足立つ

(上海十八日同盟) 十五連を奪取して急追する皇軍の威力に膽を潰し、十七日午後二時まで小昆山西方十五杆を占領した。同地は崑山、蘇州間の最要衝である。

(上海十八日同盟) 崑山を抜いて東方より蘇州に迫りつゝある新銃上陸部隊は真義鎮より雨を冒して西進し、塘灣湖、沙湖その他の無數に散在する湖沼を眺めながら前進を續けて十八日早朝古戰場で名高い猛將廟に達し更に雨を衝いて進撃を續けてゐる。

(上海十八日同盟) 蘇州を守る中央軍前敵總司令陳誠は廿數個師の大軍を率んで湖沼地帯で日本軍の前進を阻止すべしと豪語を續けてゐたが、崑山を奪取して急追する皇軍の威力に膽を潰し、十七日確定なる方面に達した情報によれば既に蘇州を見捨てて太湖の南岸湖州に退却したことが明白となつた。

(上海十八日同盟) 北東南三方より我が軍の包囲態勢に陥つた蘇州の敵は目下大動搖を來し一部は北方に退却を開始してゐる。

〔上海十八日同盟〕杭州戰線

片岡部隊は嘉興前面九キロの陸新銃部隊は十七日夕刻突然地點に内薄し等乃木砲兵部隊も敵砲撃を終へ〇〇部隊の残勢を完了し、十八日早朝常熟東方の五家橋に進出して崑

州を八方より睥睨してゐる。

避難民陸續と

濟南を脱出

〔紐育十七日同盟〕濟南發工

一ビ電によれば日本軍の進出で濟南は今や大混亂に陥つてあり、避難民は續々濟南から逃げ出している。

〔上海十八日同盟〕白茆行上

州を八方より睥睨してゐる。





日本から送金不能で  
青息吐息の邦人棉作  
者に至るまでの経緯  
は、主として、日本政府の資本による大株式会社の設立と、その運営によるものである。この会社は、主に棉花の輸入販売を行っており、その運営によって、邦人棉作者の生活が大きく影響を受けた。

## 我れ等のテナー

藤原氏は、この会社の元幹部で、現在は、棉花の貿易業者として活動している。

藤原氏は、

